

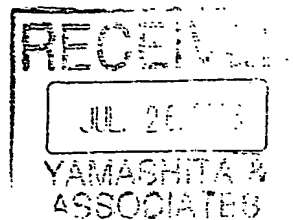
# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）

〔PCT36条及びPCT規則70〕



出願人又は代理人 の書類記号 IPY-173	今後の手続きについては、様式PCT/ IPEA/ 416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2005/002995	国際出願日 (日.月.年) 24.02.2005	優先日 (日.月.年) 24.02.2004
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04N7/173(2006.01), G06F12/00(2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) 日本電気株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で 5 ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第II欄 優先権</p> <p><input type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 22.12.2005	国際予備審査報告を作成した日 13.07.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 長谷川 素直	5C 2948
電話番号 03-3581-1101 内線 3541		

## 第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願  
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文  
☐ 国際調査 (PCT 規則 12.3(a) 及び 23.1(b))  
☐ 国際公開 (PCT 規則 12.4(a))  
☐ 国際予備審査 (PCT 規則 55.2(a) 又は 55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第 6 条 (PCT 14 条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-15 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT 19 条の規定に基づき補正されたもの

第 1-19 \_\_\_\_\_ 項\*、22.12.05 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-8 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT 規則 70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第Ⅴ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-19	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1-19	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-19	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

- 文献 1: JP 7-200380 A (インターナショナル・ビジネス・マシーンス・コーポレーション), 1995. 08. 04, 全文, 全図  
 文献 2: JP 2002-290974 A (松下電器産業株式会社), 2002. 10. 04, 全文, 全図  
 文献 3: JP 11-355756 A (沖電気工業株式会社), 1999. 12. 24, 全文, 全図

(1) 請求の範囲 1-19

請求の範囲 1-19 に記載された発明は、国際調査報告で引用された上記文献 1-3 に記載されておらず、また、これら文献から当業者に自明なものでもない。

## 請求の範囲

- [1] (補正後)受信端末がデータの再生処理に先んじて先読み処理を行い、再生時には、受信データ記憶部の候補プログラム先頭データ群から適切なものを選択して再生し、送信機から後続データが配信された時点で再生データを切り替える情報配信システムであって、
- 前記候補プログラム先頭データ群が、利用者が単一の機会に任意に視聴し得る可能性のあるプログラムである一つもしくは複数の候補プログラムにおける、受信端末の一つもしくは複数の再生環境に対応するシーケンスデータの先頭データの集合であることを特徴とする情報配信システム。
- [2] (補正後)前記受信端末は、
- 再生シーケンスを特定するシーケンス送信リクエストを前記送信機に送信すると共に、再生するシーケンスの識別情報を出力するリクエスト送信部と、
- 再生要求したシーケンスの先頭シーケンスデータを前記受信データ記憶部から読み出す再生シーケンス選択部と、
- 前記送信機から後続シーケンスデータを受信する手段と、
- 前記先頭シーケンスデータと後続シーケンスデータとを切り替える切替器と、
- 前記切替器からのシーケンスデータを再生するデコーダとを備え、
- 前記送信機は、
- 前記受信端末からの前記シーケンス送信リクエストを受信し、再生要求されたシーケンスのシーケンスデータのうち、前記先頭シーケンスデータの後続部分を送信データ記憶部から読み出し、その後続シーケンスデータを前記受信端末に配信する送信シーケンス選択部とを備えることを特徴とする請求項1に記載の情報配信システム。
- [3] (補正後)候補プログラムが、全プログラムに対する検索処理の結果得られるプログラムの部分集合であることを特徴とする請求項1に記載の情報配信システム。
- [4] (補正後)候補プログラムが、全プログラムのうち利用者の個人情報に基づいて限定したプログラムの部分集合であることを特徴とする請求項1に記載の情報配信システム。
- [5] (補正後)前記受信端末は、

前記送信機に候補プログラム要求情報を送信する候補プログラム決定部と、  
前記送信機から前記候補プログラム先頭データ群を受信し、前記受信データ記憶部に格納する手段とを備え、

前記送信機は、

前記受信端末からの候補プログラム要求情報を受信すると、前記送信データ記憶部より候補プログラムの先頭データ群を読み出して前記受信端末に送信する候補プログラム先頭データ読出部を備えることを特徴とする請求項1に記載の情報配信システム。

- [6] (補正後)前記受信端末が送信するシーケンス送信リクエストに、現在の受信端末の再生環境についての環境情報を含み、  
前記再生シーケンス選択部は、前記先頭シーケンスデータを前記受信データ記憶部から読み出す際に、現在の再生環境に最も適したデータ形式を持つ先頭シーケンスデータを前記受信データ記憶部から読み出すことを特徴とする請求項1に記載の情報配信システム。
- [7] (補正後)前記先頭シーケンスデータが配信サービスを管理する管理データを含み、  
前記受信端末は、前記先頭シーケンスデータを再生すると前記管理データを前記送信機に送信し、  
前記送信機は、受信した管理データに基づき、後続データの最適なデータ形式を決定してシーケンスデータを配信することを特徴とする請求項1に記載の情報配信システム。
- [8] (補正後)受信端末がデータの再生処理に先んじて先読み処理を行い、再生時には、受信データ記憶部の候補プログラム先頭データ群から適切なものを選択して再生し、送信機から後続データが配信された時点で再生データを切り替える情報配信方法であって、  
前記候補プログラム先頭データ群が、利用者が単一の機会に任意に視聴し得る可能性のあるプログラムである一つもしくは複数の候補プログラムにおける、受信端末の一つもしくは複数の再生環境に対応するシーケンスデータの先頭データの集合で

あることを特徴とする情報配信方法。

- [9] (補正後)前記受信端末が、再生シーケンスを特定するシーケンス送信リクエストを前記送信機に送信するステップと、

前記受信端末が、再生要求したシーケンスの先頭シーケンスデータを前記受信データ記憶部から読み出し、そのシーケンスデータを再生するステップと、

前記送信機が、前記シーケンス送信リクエストを受信し、再生要求したシーケンスのシーケンスデータのうち、前記先頭シーケンスデータの後続部分を送信データ記憶部から読み出し、その後続シーケンスデータを前記受信端末に配信するステップと、

前記受信端末が、前記後続シーケンスデータを受信し、前記先頭シーケンスデータと後続シーケンスデータとを切り替えるステップと、

その後続シーケンスデータを再生するステップとを含むことを特徴とする請求項8に記載の情報配信方法。

- [10] (補正後)候補プログラムが、全プログラムに対する検索処理の結果得られるプログラムの部分集合であることを特徴とする請求項8に記載の情報配信方法。

- [11] (補正後)前記受信端末が、前記送信機に候補プログラム要求情報を送信するステップと、

前記送信機が、前記候補プログラム要求情報を受信して、前記送信データ記憶部より候補プログラムの先頭データ群を読み出して前記受信端末に送信するステップと、

前記受信端末が、前記候補プログラム先頭データ群を受信し、前記受信データ記憶部に格納するステップとを含むことを特徴とする請求項8に記載の情報配信方法。

- [12] (補正後)前記受信端末が送信するシーケンス送信リクエストに、現在の受信端末の再生環境についての環境情報を含み、

前記先頭シーケンスデータを前記受信データ記憶部から読み出す際に、現在の再生環境に最も適したデータ形式を持つ先頭シーケンスデータを前記受信データ記憶部から読み出すことを特徴とする請求項8に記載の情報配信方法。

- [13] (追加)前記先頭シーケンスデータが配信サービスを管理する管理データを含み、前記受信端末は、前記先頭シーケンスデータを再生すると前記管理データを前記

送信機に送信し、

前記送信機は、受信した管理データに基づき、後続データの最適なデータ形式を決定してシーケンスデータを配信することを特徴とする請求項8に記載の情報配信方法。

- [14] (追加) 受信端末がデータの再生処理に先んじて先読み処理を行い、再生時には、受信データ記憶部の候補プログラム先頭データ群から適切なものを選択して再生し、送信機から後続データが配信された時点で再生データを切り替える情報配信システムの送信機であって、

前記候補プログラム先頭データ群が、利用者が単一の機会に任意に視聴し得る可能性のあるプログラムである一つもしくは複数の候補プログラムにおける、受信端末の一つもしくは複数の再生環境に対応するシーケンスデータの先頭データの集合であることを特徴とする情報配信装置。

- [15] (追加) 前記受信端末からの候補プログラム要求情報を受信すると、送信データ記憶部より候補プログラムの先頭データ群を読み出し前記受信端末に送信する候補プログラム先頭データ読出部と、

前記受信端末の再生シーケンスを特定するシーケンス送信リクエストを前記受信端末から受信し、再生要求されたシーケンスのシーケンスデータのうち、予め前記受信端末に送っていた先頭シーケンスデータの後続部分を前記送信データ記憶部から読み出し、その後続シーケンスデータを前記受信端末に配信する送信シーケンス選択部とを備えることを特徴とする請求項14に記載の情報配信装置。

- [16] (追加) 受信端末がデータの再生処理に先んじて先読み処理を行い、再生時には、受信データ記憶部の候補プログラム先頭データ群から適切なものを選択して再生し、送信機から後続データが配信された時点で再生データを切り替える情報配信システムの受信端末であって、

前記候補プログラム先頭データ群が、利用者が単一の機会に任意に視聴し得る可能性のあるプログラムである一つもしくは複数の候補プログラムにおける、受信端末の一つもしくは複数の再生環境に対応する先頭データの集合であることを特徴とする受信端末。

- [17] (追加)再生シーケンスを特定するシーケンス送信リクエストを前記送信機に送信すると共に、再生するシーケンスの識別情報を出力するリクエスト送信部と、  
再生要求したシーケンスの先頭シーケンスデータを前記受信データ記憶部から読み出す再生シーケンス選択部と、  
前記送信機から後続シーケンスデータを受信する手段と、  
前記先頭シーケンスデータと後続シーケンスデータとを切り替える切替器と、  
前記切替器からのシーケンスデータを再生するデコーダとを備えることを特徴とする請求項16に記載の受信端末。
- [18] (追加)受信端末がデータの再生処理に先んじて先読み処理を行い、再生時には、受信データ記憶部の候補プログラム先頭データ群から適切なものを選択して再生し、送信機から後続データが配信された時点で再生データを切り替える情報配信システムの情報中継装置であって、  
前記候補プログラム先頭データ群が、利用者が単一の機会に任意に視聴し得る可能性のあるプログラムである一つもしくは複数の候補プログラムにおける、受信端末の一つもしくは複数の再生環境に対応する先頭データの集合であることを特徴とする情報中継装置。
- [19] (追加)前記受信端末の再生シーケンスを特定するシーケンス送信リクエストを生成して前記送信機に送信するリクエスト送信部を備えることを特徴とする請求項18に記載の情報中継装置。